

福岡観世会 第一回

令和八年

能小

督 森本 哲郎
替装束

狂言

佐渡狐

野村 万禄

能百

萬坂口 貴信
法樂之舞



撮影 前島吉裕



とき / 令和8年 5月16日(土) 午後1時始(12時開場)

ところ / 大濠公園能楽堂

入場券 / 第一回・第二回綴り券 ▶ 指定席...18,000円・自由席...14,000円

単券(当日券) ▶ 指定席...10,000円・自由席...8,000円

※綴り券をご購入の場合、第一回の指定席券・自由席券は第二回の自由席券として、
第二回の指定席券・自由席券は第一回の自由席券としてご利用いただけます。

発売所 / 大濠公園能楽堂 ☎092-715-2155

番組

俊成 忠度キリ
巻 絹クセ
鞍馬 天狗
網之段
須磨源氏
山口剛一郎
今村 一夫
井内 政徳
今村 官子
長宗 敦子
小倉要二郎
今村嘉太郎
鷹尾 維教
久田勘吉郎

小督

ツレ 菊本 澄代
トモ 菊本 美貴
森本 哲郎
福王 茂十郎
大鼓 白坂 保行
小鼓 飯富 章宏
井内 政徳
久保誠一郎
杉浦悠一朗
鷹尾 章弘
多利島利之
今村 一夫
後見 武田 宗典
山本 章弘
地謡 今村 哲朗
山口剛一郎
井内 政徳
久保誠一郎
杉浦悠一朗
鷹尾 章弘
多利島利之
今村 一夫

佐渡狐

仕舞
通小町
西行 桜
阿漕
山本 章弘
山本 清和
多利島利之
杉浦悠一朗
鷹尾 章弘
今村 嘉伸
今村嘉太郎
シテ 野村 万禄
アド 杉山 俊広
小アド 吉良 博靖
後見 雪野 洸太

百萬

子方 坂口 和貴
坂口 貴信
能
佐々木 秀
福王 茂十郎
喜多 雅人
間野村 万禄
大鼓 白坂 信行
小鼓 幸 正佳
久田勘吉郎
今村 哲朗
今村嘉太郎
久保誠一郎
久田勘吉郎
今村 一夫
今村 三郎太
観世 清和
鷹尾 維教
狂言 能
能 鈴 木 親世 清和
能 善 界 今村嘉太郎

終演予定午後五時頃

小督 替装束

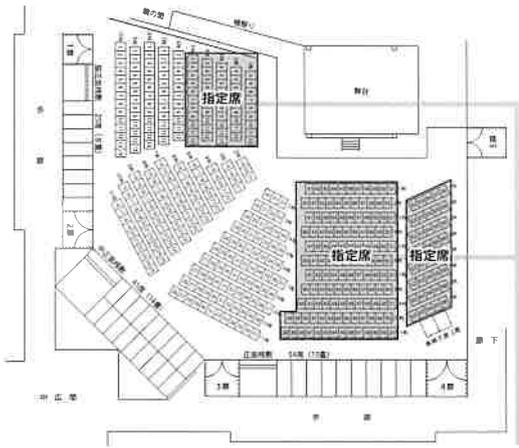
平家全盛の頃。高倉院は中宮となった清盛の娘徳子を畏れて身を隠した小督局への思慕止みがたく、小督宛の文を託し源仲国にその行方を捜すよう命じます。馬を駆け嵯峨野へと向かうその日は折しも中秋の名月、琴の名手である小督がきつと奏じるに違いないと思う仲国は、小さな庵にたどり着きました。心を込めた双方のやり取りがあり、やがて別の場面となります。仲国が馬上の「駒之段」、中国の故事を引きつつ帝への愛を綴るクセ、別れの場面に於ける男舞など見どころ多い曲です。「替装束」の小書により直垂から単狩衣と指貫となります。男舞は貴人や大切な人の前で舞いますが、「恐之舞」となり、貴人小督の前で足拍子を踏まない、背を向けないように舞うなど、随所に趣き深い演出がごさいます。

佐渡狐

佐渡のお百姓と越後のお百姓が上頭(うえとう) 莊園の領主)に年貢を納めに行く途中、佐渡に狐が居るか否かで論争になり、それぞれの刀を賭け、奏者(役人)にその判定を頼み、領主の館へ向かいます。実は狐を見たことがなかった佐渡の者は奏者に賄賂を渡すなどし。賭けに勝つのですが、最後にどんでん返しお待ち受けています。事実といたしましては。江戸時代、佐渡島に狸はいても狐はいなかったようです。

百萬 法楽之舞

吉野の男が奈良西大寺迎り拾った子を連れて京都嵯峨野へやって来ると、釈迦堂では大念仏の最中でした。そこへ夫と死別した上に子まで見失ったために物狂いとなった女が現れます。念仏の拍子が悪いと自分で音頭を取って舞い、仏前に進んで我が子に会わせて欲しいと折る女の姿は、悲劇的な暗さというより春の浮き立つような明るい風情を感じるような、芸づくし面白づくしの能でありながら、我が子との再会の場面では思わず感動の涙がこぼれるようなドラマチックな展開です。法楽とは本来、仏に手向けるわざの意です。「法楽之舞」の小書がつくと、中之舞を笹で舞い、芸づくしの要素が強調された演出となります。



指定席 (その他は棟敷席を含めて自由席となります。)

第二回 予告

【とき】令和九年 一月二十三日(土)
午後時始(十二時開場)
【ところ】大濠公園能楽堂

能 鈴 木 親世 清和
能 善 界 今村嘉太郎